

●●● 2021年4月～6月期 栃木県中小企業景況調査(168回) ●●●

【栃木県DI指数天気図】

業況

今期(県内全体)の業況



DI値
-30.4
※全国 -25.8

県内全体の業況(DI値)は、全業種で改善し、前期(1-3月期)より12.3ポイント改善の-30.4ポイントとなった。特に製造業は16.3ポイント、小売業においては33.1ポイントと大幅に改善しており、全国と比較すると4.6ポイント低いものの、改善傾向にある。

来期の予想では、製造業が大幅な改善を見込む一方、建設業は悪化するとされ、県全体の業況としては7.2ポイントの上昇となるが、不安定な状況が続くと見込まれる。

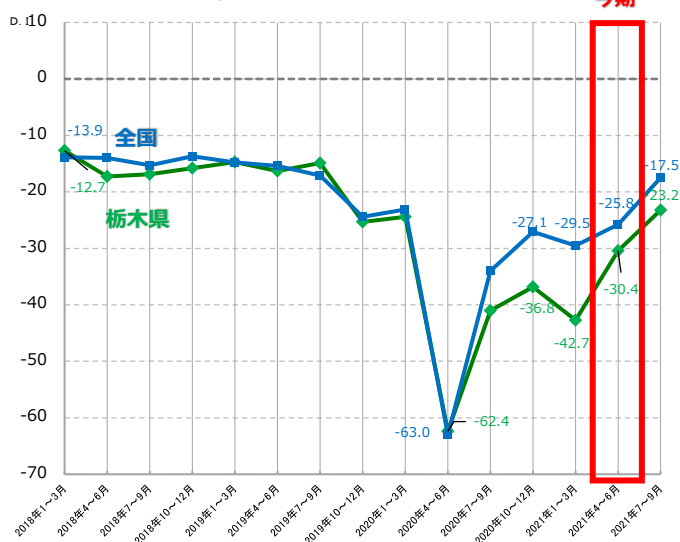
～天気図の指標～

現状	良い	やや良い	やや悪い	悪い	とても悪い
天気図					
DI値	15.1～	15～0.1	0～-15	-15.1～-40	-40.1～

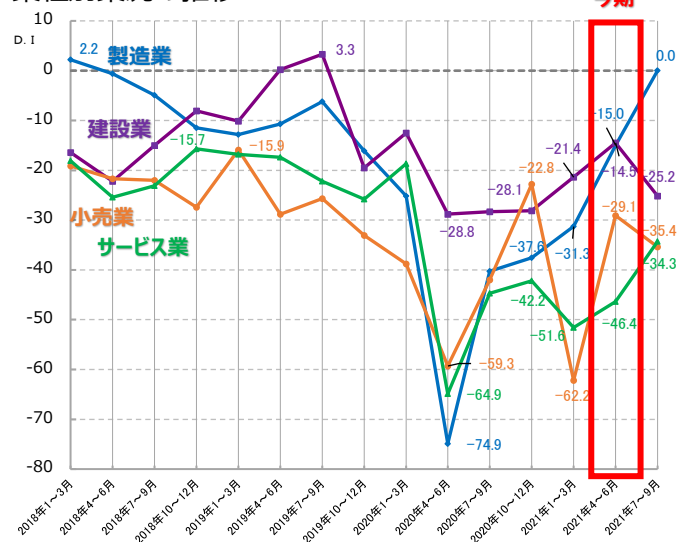
業種	項目	今期(全体)	売上額	仕入単価※	採算	資金繰り	来期予想(全体)
製造業							
	DI値	-15.0	-33.4	42.9	-26.7	-26.7	0.0 (↗)
業況：全項目が低水準ながらも改善傾向、来期は全体で15.0ポイント改善の見込み							
建設業							
	DI値	-14.5	-25.0	65.0	-20.0	-20.0	-25.2 (↘)
業況：前期から+6.9ポイント改善も来期は-10.7ポイント悪化の見込みで業況は停滞気味							
小売業							
	DI値	-29.1	-47.5	15.0	-60.0	-32.5	-35.4 (↘)
業況：前期から大幅改善も来期は-6.3ポイント悪化見込みで不安定な状態続く							
サービス業							
	DI値	-46.4	-20.0	-40.0	-40.0	-40.0	-34.3 (↗)
業況：前期から+5.2ポイント改善、来期も改善傾向が続く見込み							

※仕入単価はプラスになるほど悪化となります

全国と栃木県の業況の推移

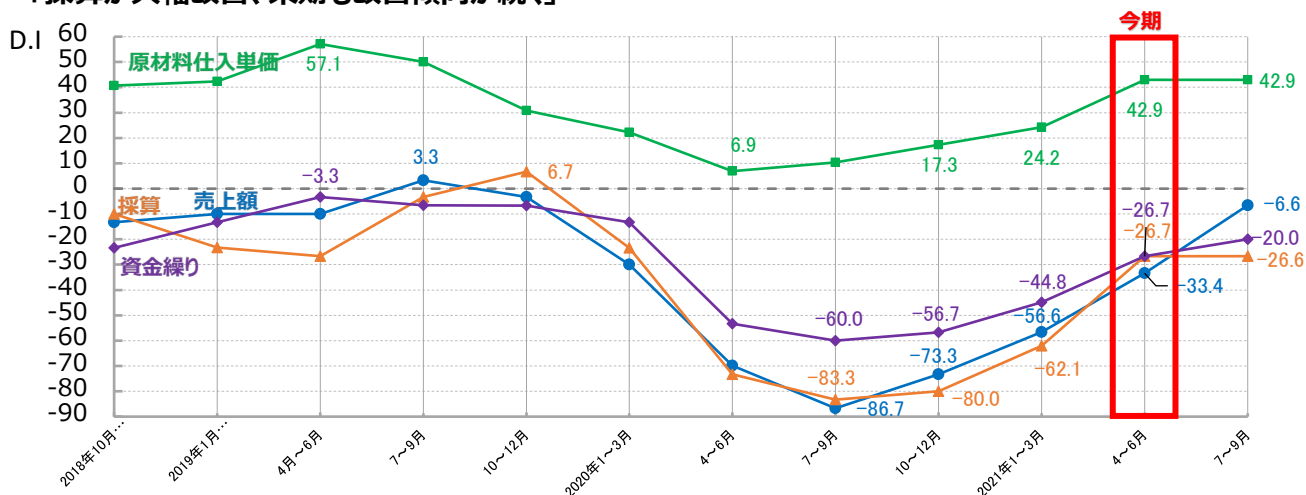


業種別業況の推移



製造業

「採算が大幅改善、来期も改善傾向が続く」



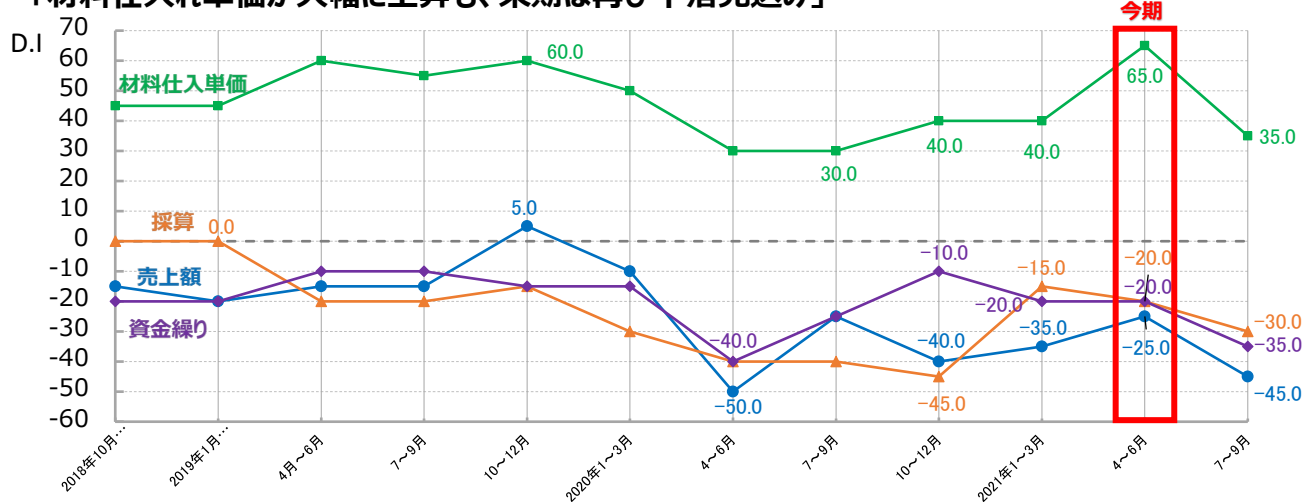
「採算」の35.4ポイント(-62.1→-26.7)を筆頭に、「売上額」は23.2ポイント(-56.6→-33.4)、「資金繰り」は18.1ポイント(-44.8→-26.7)と3項目において大幅に回復した。来期においては、「採算」が横ばいとなるものの、「売上額」が26.8ポイント(-33.4→-6.6)、「資金繰り」が6.7ポイント(-26.7→-20.0)と改善傾向が続く見込みである。

「原材料仕入単価」は上昇傾向で18.7ポイント(24.2→42.9)悪化、来期においては横ばいとなり高止まりが続く見込みである。

- 【経営上の問題点】 第1位： 需要の停滞 (39.2%) 第2位： 生産設備の不足・老朽化 (12.2%)
 第3位： 製品(加工)単価の低下・上昇難 (10.8%) 第4位： 原材料価格の上昇 (8.1%)

建設業

「材料仕入れ単価が大幅に上昇も、来期は再び下落見込み」



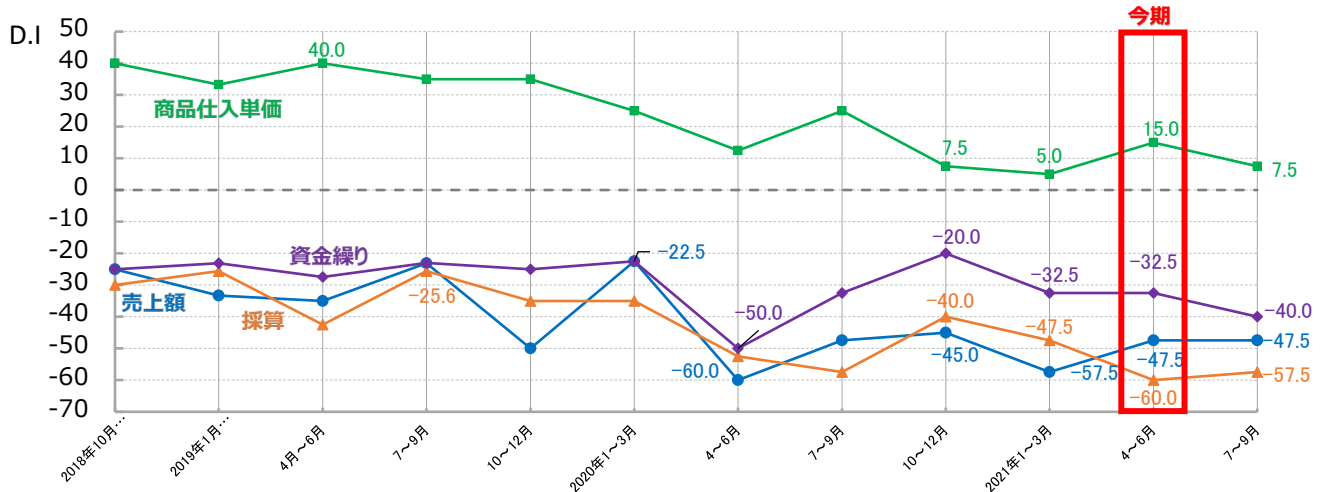
「材料仕入れ単価」は25.0ポイント(40.0→65.0)と大幅に上昇したが、来期は-30.0ポイント(65.0→35.0)下落する見込みである。

「完成工事額(売上額)」は10.0ポイント(-35.0→-25.0)と大幅に改善した。「採算」は-5.0ポイント(-15.0→-20.0)の悪化、「資金繰り」は横ばいとなった。来期は「完成工事額(売上額)」は-20.0ポイント(-25.0→-45.0)、「採算」は-10.0ポイント(-20.0→-30.0)、「資金繰り」は-15.0ポイント(-20.0→-35.0)の悪化が見込まれ、不安定な状況が続く。

- 【経営上の問題点】 第1位： 従業員の確保難(28.1%) 第2位： 民間需要の停滞(15.6%)
 第3位： 大企業の進出による競争の激化 (9.4%) 第4位： 材料価格の上昇 (9.4%)

小売業

「売上額は改善も、不安定な状態が続く」



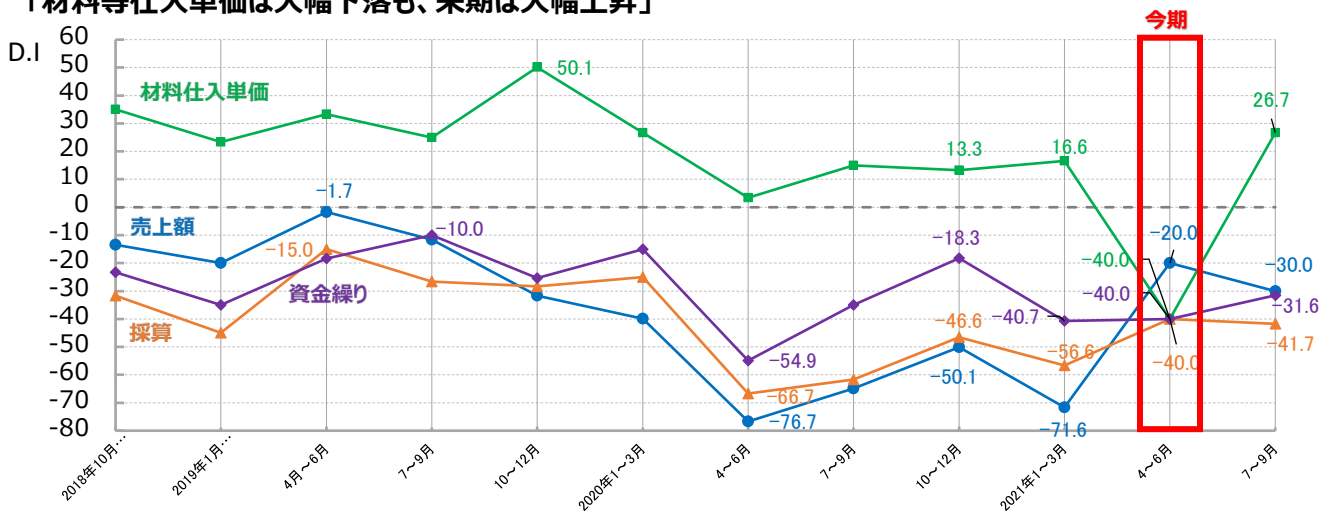
「売上額」は10.0ポイント (-57.5→-47.5) と大幅に改善したものの、「採算」は-12.5ポイント(-47.5→-60.0)と大幅に悪化、「資金繰り」は横ばいとなった。来期は「売上額」は横ばい、「採算」が2.5ポイント (-60.0→-57.5) 改善するものの、「資金繰り」が-7.5ポイント (-32.5→-40.0) と悪化する見込みであり、依然として厳しい状況が続く。

「商品仕入単価」は10.0ポイント(5.0→15.0)上昇したが、来期は-7.5ポイント (15.0→7.5) の下落が見込まれる。

【経営上の問題点】 第1位： 需要の停滞 (34.5%) 第2位： 消費者ニーズの変化への対応(17.2%)
 第3位： 大・中型店の進出による競争の激化 (10.3%) 第4位： 購買力の他地域への流出 (10.3%)

サービス業

「材料等仕入単価は大幅下落も、来期は大幅上昇」



「売上額」は51.6ポイント(-71.6→-20.0)、「採算」は16.6ポイント(-56.6→-40.0)と大幅に改善、「資金繰り」は横ばいとなった。来期は「売上額」は-10.0ポイント (-20.0→-30.0) 悪化、「採算」は横ばい、「資金繰り」は8.4ポイント (-40.0→-31.6) 改善する見込みであり不安定な状態が続く。

「材料等仕入単価」は今期56.6ポイント(16.6→-40.0)大幅に下落したものの、来期は66.7ポイント (-40.0→26.7) の上昇が見込まれる。

【経営上の問題点】 第1位： 需要の停滞 (25.6%) 第2位： 利用者ニーズの変化への対応 (22.2%)
 第3位： 従業員の確保難 (10.0%) 第4位： 大企業の進出による競争の激化 (7.8%)

調査要領

○調査の目的

中小企業景況調査は、全国の商工会地区に地域経済観測点を設置し、地域の産業の状況や経済動向等について、一定時期ごとに変化の実態諸情報を迅速かつ的確に収集・提供して、経営改善普及事業の効果的実施に資するものとする。本報告書は、栃木県内商工会地区における、「製造業」「建設業」「小売業」「サービス業」の4業種を、主要景況項目(売上額・原材料仕入単価・採算・資金繰り)から分析し、景況情報をまとめたものである。

○調査対象地区（栃木県商工会地区）

粟野・足尾町・茂木町・石橋・桑絹
大平町・岩舟町・高根沢町・那須烏山・足利市坂西

○調査時点

2021年6月1日

○調査対象期間

2021年4月～6月期の実績及び、2021年7月～9月期の見通しについて調査

○調査方法

商工会の経営指導員による訪問調査

○回答企業数内訳

業種	回答企業数	構成比(%)
製造業	30	20.0%
建設業	20	13.3%
小売業	40	26.7%
サービス業	60	40.0%
合計	150	100.0%

※D I 指数とは

報告書に登場するD I 値とは、デフュージョン・インデックス(Diffusion Index = 景気動向指数)の略であり、各調査項目についての増加(上昇・好転)企業割合から減少(低下・悪化)企業割合を差し引いた値を示すものである。

D I 値がプラスのときは業況の好転、マイナスのときは業況の悪化を示すことから、景気の動向を判断する指数として利用される。また、D I 値は強気・弱気など、景況感の相対的な広がりを示すものであり、売上額などの実数値の上昇率とは異なる。

たとえば、今期の売上額を前年同期と比較した結果、増加企業が50%、不変企業が30%、減少企業が20%となったとすると、D I 値は $50 - 20 = 30$ となり、売上額に対して強気の度合いを示している。



編集：栃木県商工会連合会 経営の見える課

発行所：栃木県商工会連合会 栃木県宇都宮市中央3丁目1番4号

次の100年も
ここに商工会

TEL 028-637-3731・FAX 028-637-2875